

長崎大学グローバルCOEプログラム
「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」
第4回研究課題報告会

プログラム

日時:平成 21 年 9 月 29 日 13:30-17:45

場所:長崎大学医学部良順会館ボードインホール



はじめに

拠点リーダー:山下俊一 (代理 永山雄二)

13:30-13:35

セクション I

座長:光武範吏(原研細胞)

13:35-14:25

1. Thyroid Research and International Activity in the frame of Global COE Program
Tatiana Rogounovitch (原研細胞・国際)
2. Study of genetic susceptibility to radiation-related thyroid cancer and molecular bases of rare thyroid diseases
Natallia Akulevich (原研細胞・国際)
3. Mutational and clinico-pathological analysis of papillary thyroid carcinoma in Serbian patients
Boban Stanojevic (原研細胞・国際)
4. 甲状腺乳頭癌における癌遺伝子シグナル
松瀬美智子((原研細胞)
5. Cre-loxp システムを用いた Braf 発現トランスジェニックマウスの作製
中原麻美(原研分子)

セクション II

座長:鈴木啓司(原研細胞)

14:25-15:25

6. ATM-p53 経路による、染色体転座を持つ細胞の増殖抑制
山内基弘(原研細胞)
7. がん細胞における放射線誘発非アポトーシス型細胞死の系譜
鈴木正敏(原研細胞)
8. 放射線照射後のG2/Mチェックポイント誘導におけるヒストンH2AXリン酸化シグナルおよび染色体損傷の定量解析
石川 彩(原研細胞)

9. Loading of cohesins to DSB sites depends on NIPBL foci formation

岡 泰由(原研細胞)

10. ガンマ線照射ヒト細胞における遅延的ミトコンドリア形態変化

小橋川新子(原研細胞)

11. 放射線照射による持続性 G1 チェックポイントにおける ATM の役割

早田知永(原研細胞)

休憩(15分)

15:25-15:40

セクション III

座長:宮崎泰司(原研内科)

15:40-16:40

12. 原爆被爆者生体試料バンクの構築及びこれを基盤とした幹細胞ゲノム不安定性研究の展開

長井一浩(原研内科)

13. 急性白血病における予後因子の分子レベルでの解析

富永信也(原研内科)

14. Founder Mutation Search in ALS patients

佐々木健作(原研遺伝)

15. SNPマイクロアレイを用いたホモザイゴシティマッピング

三嶋博之(原研遺伝)

16. PKC (Paroxysmal kinesigenic choreoathetosis) の変異解析

小野慎治(原研遺伝)

17. エチニルデオキシウリジン(EdU)を用いた DNA 修復合成活性測定による色素性乾皮症(XP)診断及び新規ヌクレオチド除去修復(NER)因子の探索

中沢由華(原研細胞)

セクション IV

座長:中島正洋(原研試料室)

16:40-17:40

18. 放射線照射によるミトコンドリアの機能変化

吉田貴子(原研生化)

19. グルタチオンS-トランスフェラーゼ π の核移行メカニズムと機能

川勝美穂(原研生化)

20. 成熟ラット甲状腺濾胞上皮の放射線感応性解析

蔵重智美(原研試料室)

21. 子宮頸がん腫瘍進展過程での 53BP1 発現解析:DNA 損傷応答と HPV 感染との関係

松田勝也(原研病理)

22. Correlation between type of 53BP1-expression and nodal metastasis in thyroid micropapillary carcinoma

Zhanna Mussazhanova(原研病理)

23. 放射線腸管障害に対する bFGF の防御効果

松山睦美(原研病理)

さいごに

拠点リーダー:山下俊一 (代理 永山雄二)

17:40-17:45